

2020年5月期 第2四半期決算概況

証券コード：3501
(東証一部上場)



目次

■ 表紙	01	■ 2020年5月期 連結計画	16
■ 目次	02	■ 2020年5月期 事業セグメント別計画	17
■ 2020年5月期第2四半期 (2019/6～2019/11)連結業績	03	■ 株主還元について	18
■ 連結業績の事業セグメント別内訳	05	■ 第5次中期3カ年経営計画「2020」	19
■ インテリア事業	06	■ 自動運転、シェアカー時代のカーイン テリア	22
■ 自動車・車両内装事業	08		
■ 機能資材事業	11		
■ 連結バランスシート	13		
■ 設備投資・減価償却費	14		
■ 有利子負債	15		

2020年5月期第2四半期 (2019/6～2019/11)連結業績

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		期初計画	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売上高	48,602	49,309	△1.4%	△707	48,000	+1.3%	+602
営業利益	1,190	1,351	△11.9%	△160	1,100	+8.3%	+90
営業利益率	2.5%	2.7%			2.3%		
経常利益	1,130	1,350	△16.2%	△219	1,150	△1.7%	△19
経常利益率	2.3%	2.7%			2.4%		
四半期純利益	474	493	△3.9%	△19	470	+0.9%	+4
四半期純利益率	1.0%	1.0%			1.0%		

為替レート	当第2四半期	前年同期
(USD/JPY)	108.68	110.71

※ 当資料の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表している。

2020年5月期第2四半期 (2019/6～2019/11)連結業績

売上高 **486**億 2百万円

前年同期 493億9百万円 計画 480億円

営業利益 **11**億90百万円

前年同期 13億51百万円 計画 11億円

経常利益 **11**億30百万円

前年同期 13億50百万円 計画 11億円50百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益 **4**億74百万円

前年同期 4億93百万円 計画 4億70百万円

外部環境

インテリア業界

- ・新設住宅着工戸数は前年同期を下回った。
- ・非住宅分野では都市部を中心として引き続き需要があった。

自動車業界

- ・国内市場の生産台数は前年同期に対し10月以降減少傾向となった。
- ・海外市場では米中貿易摩擦による中国市場の減速の影響が欧州ならびにアジア経済にも波及し、需要が低迷している。

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位:百万円)

売上高	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	16,938	16,631	+1.8%	+307
自動車・車両内装	28,824	29,845	△3.4%	△1,020
機能資材	2,763	2,760	+0.1%	+3
その他	74	71	+4.5%	+3
合計	48,602	49,309	△1.4%	△707

営業利益	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	265	△29	-	+294
自動車・車両内装	1,609	1,851	△13.1%	△242
機能資材	171	195	△12.3%	△24
その他	35	43	△18.0%	△7
調整額	△890	△709	-	△181
合計	1,190	1,351	△11.9%	△160

インテリア事業

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	16,938	16,631	+1.8%	+307
営業利益	265	△29	-	+294

■ 業務用カーペット [売上高 前年同期比+6%]

タイルカーペット

…海外輸出額が減少。国内では大型物件もあり堅調に推移。

ロールカーペット

…インバウンド需要を受けて宿泊施設や商業施設用が伸長。

■ 家庭用カーペット [売上高 前年同期比△15%]

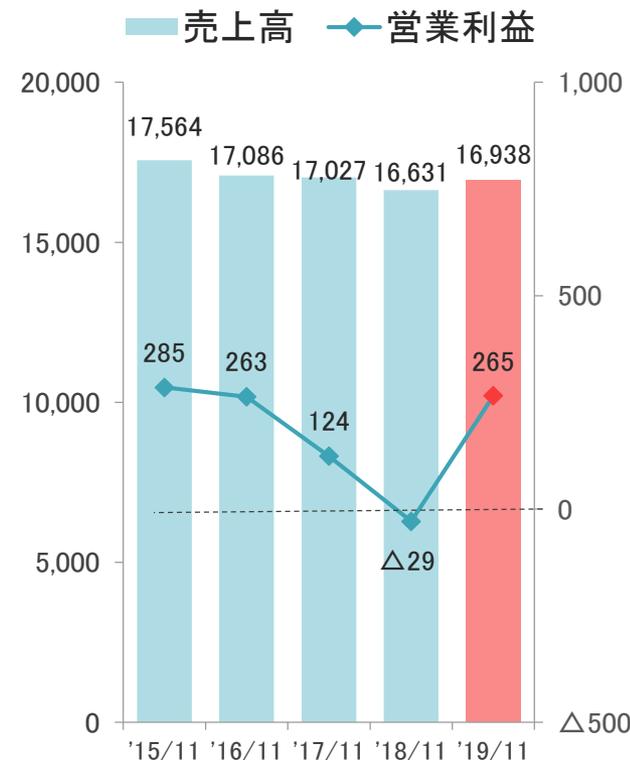
利益率を重視し、利益率の高い商材への選択と集中を推進。

■ カーテン [売上高 前年同期比+10%]

一般家庭向け「U Life® Vol.9」ならびに医療・福祉・教育施設向け「Face」が好調。「mode S® Vol.9」の新発売も寄与。

■ 壁装関連 [売上高 前年同期比+8%]

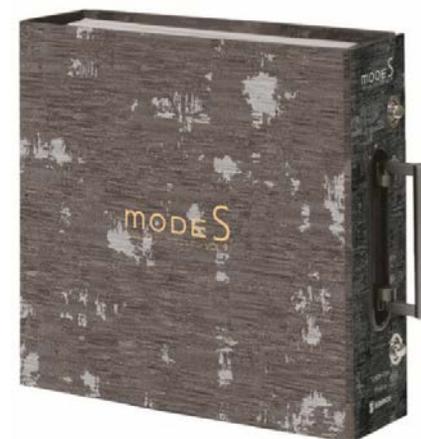
壁紙が堅調に推移。襖紙は増税前の駆け込み需要で大きく伸長。



インテリア事業 - カーテン「mode S® Vol.9」

2019年7月に発売したカーテン新シリーズ

シックなカラーと洗練されたデザインが魅力の上質なファブリックコレクション。



- 当第2四半期の売上にも貢献。今後も販促強化に努める。

自動車・車両内装事業

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	28,824	29,845	△3.4%	△1,020
営業利益	1,609	1,851	△13.1%	△242

自動車内装事業

フロアカーペット、シート地、天井表皮材等、
自動車内装材をトータルで販売

■ 国内 [売上高 前年同期比△3%]

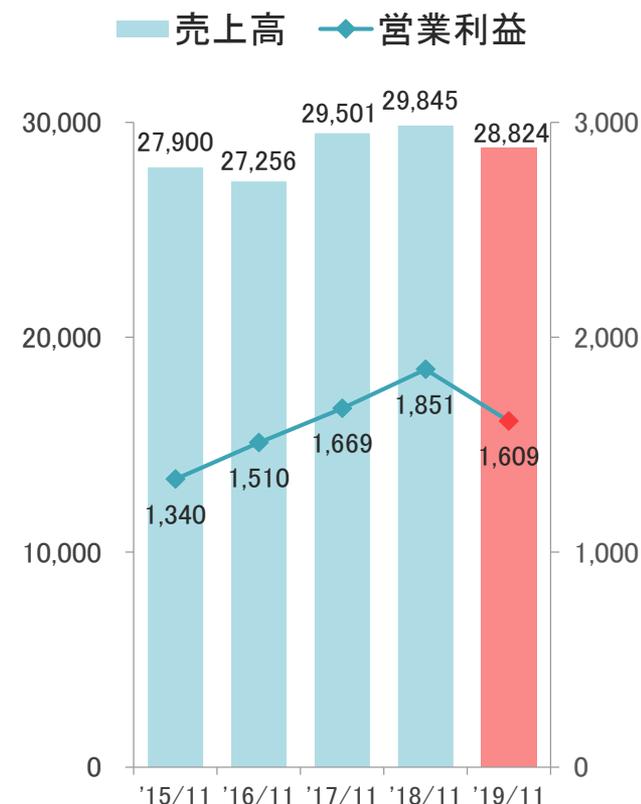
当社グループの受注車種の販売が伸び悩んだ。

■ 海外 [売上高 前年同期比△6%]

米中貿易摩擦の長期化による世界的な自動車生産台数の減少の影響を受け、特に中国、インド、タイでの販売が縮小。

自動車内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を下回った。



自動車・車両内装事業

車両内装事業

鉄道・バス・航空機・船舶にシート地やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

■ 鉄道・バス向け

鉄道ならびにバスにおいて、新車案件や定期的な修繕工事の計画が復調し、受注が好調に推移した。また、安全対策商材やシートクッション材「スミキューブ®」等の非繊維商材も売上に貢献した。

車両内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を上回った。

自動車・車両内装事業 - 納入実績



■ トヨタ自動車「RAV4」

トヨタ自動車「RAV4」の5代目モデルに、当社のシート材、天井材等が採用されました。シートファブリックは、アウトドアで活躍するイメージをデザインすることにより、力強さを表現しています。



機能資材事業

機能性資材、ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売等、
新たな分野で事業を展開

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	2,763	2,760	+0.1%	+3
営業利益	171	195	△12.3%	△24

■ ホットカーペット

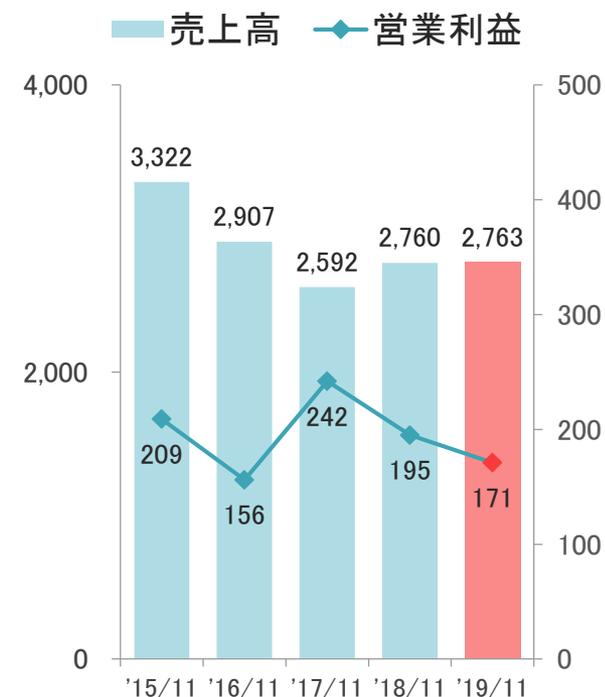
暖冬の影響もあり出荷時期が第3四半期にずれ込み売上が減少した。

■ ブラシ用毛材「KEAT・貴糸®」

受注減となった。

■ 土木用資材

採用が増えた。



機能資材事業 – ベトナムに新会社設立

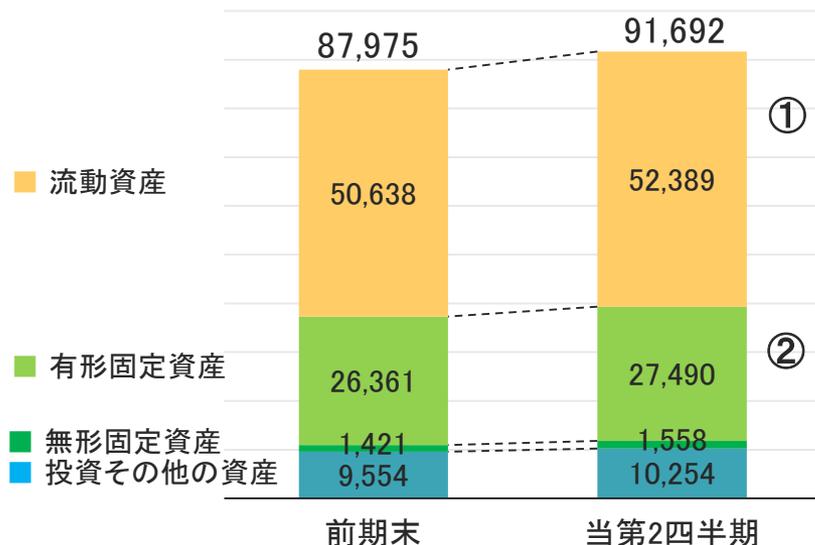
機能資材事業の主力製品である電気カーペットは、これまで中国蘇州にのみ生産拠点を有していましたが、新会社設立によりサプライチェーンのさらなる安定に繋がります。



商号	Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.
設立	2019年8月2日
資本金	190万ドル(約205百万円) ※1ドル=108円換算
出資割合	当社100%出資
事業内容	繊維系暖房商材(電気カーペット、電気毛布等)の生産および販売

連結バランスシート

<資産>



① 売上債権(受取手形及び売掛金・電子記録債権)

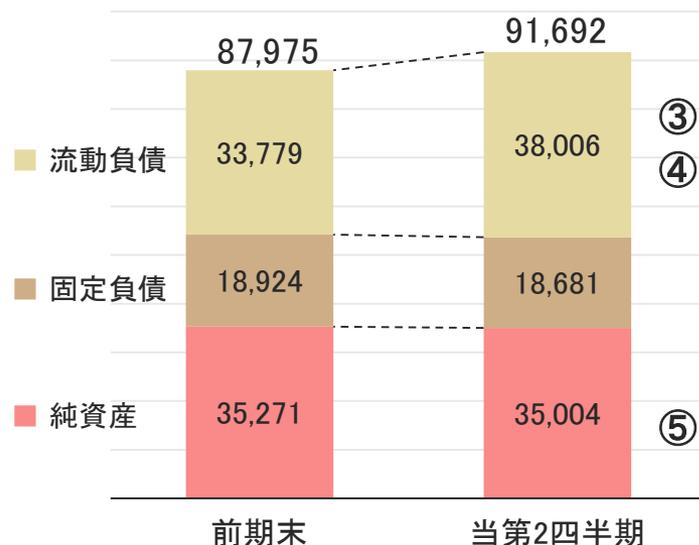
当第2四半期末日が金融機関休業日であった影響等により、前期末比+2,721百万円の26,576百万円となった。

② 有形固定資産

IFRS第16号「リース」の適用等により、リース資産(有形)が+1,160百万円増加した。

<負債・純資産>

(単位:百万円)



③ 仕入債務(支払手形及び買掛金・電子記録債務)

当第2四半期末日が金融機関休業日であった影響等により、前期末比+2,078百万円の21,696百万円となった。

④ 有利子負債(短期・長期・社債)

短期借入金の増加により、前期比+790百万円の19,339百万円となった。

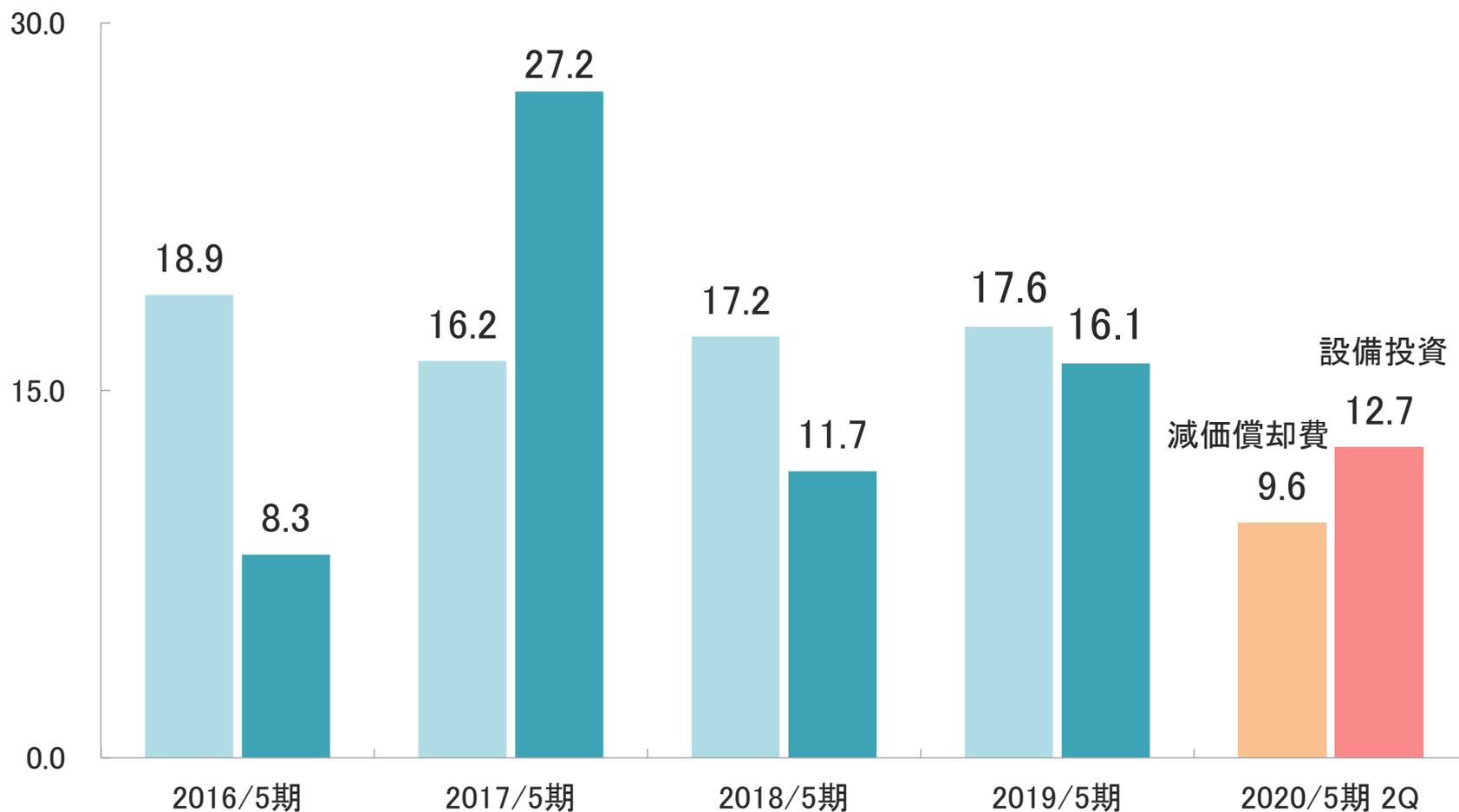
⑤ 自己株式

買付を進め前期末比△963百万円となった。

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資

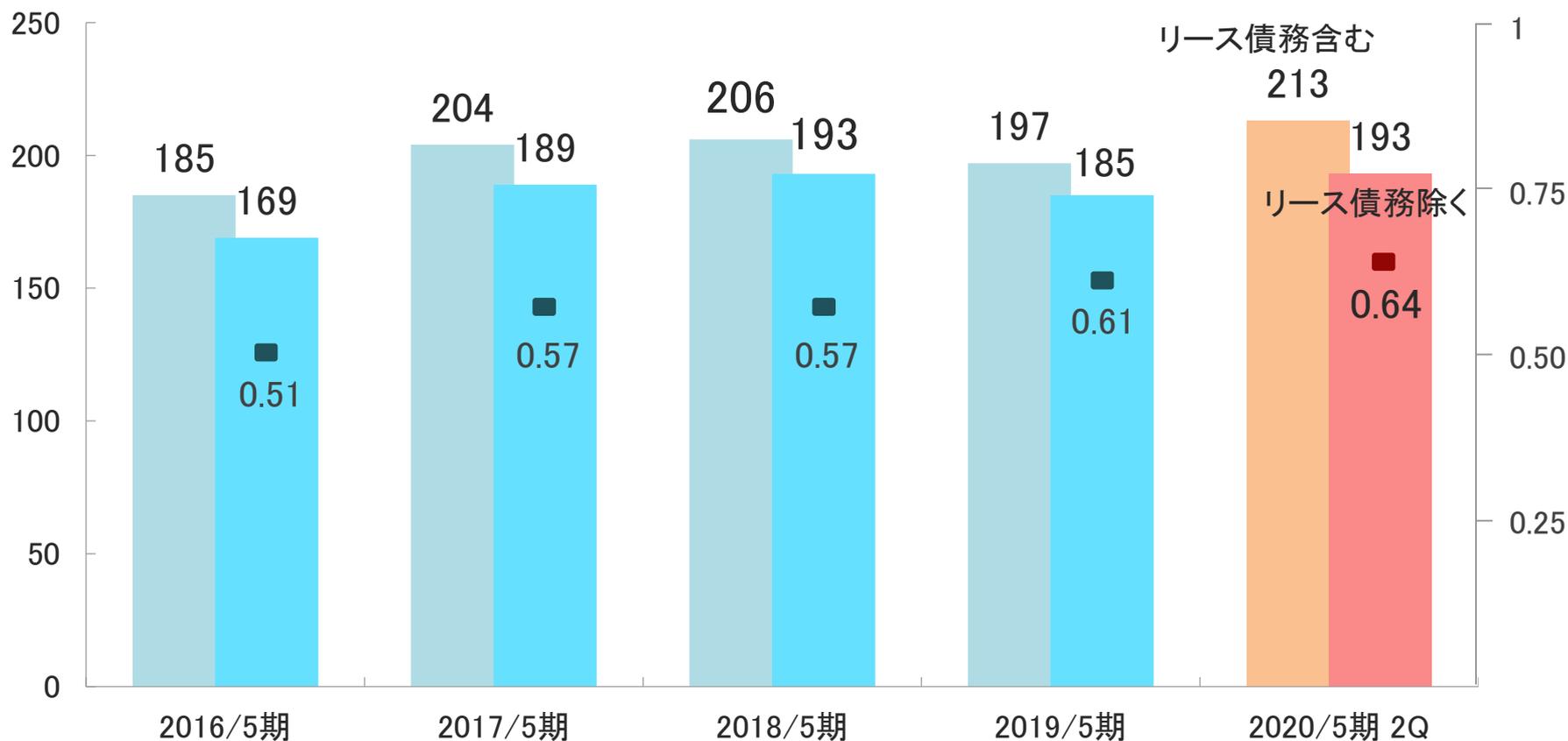


有利子負債

■ リース債務含む ■ リース債務除く ■ DEレシオ

(単位:億円)
有利子負債額

(単位:倍)
DEレシオ



※DEレシオ... $\frac{\text{有利子負債(リース債務除く)}}{\text{純資産(非支配株主持分除く)}}$

2020年5月期 連結計画

売上高 **960** 億円

(2019年5月期 986億17百万円)

営業利益 **26** 億円

(" 31億18百万円)

経常利益 **28** 億円

(" 29億56百万円)

親会社株主に帰属する

当期純利益 **13** 億円

(" 4億67百万円)

当第2四半期は期初計画通りに推移。
連結業績予想は2019年7月12日に発表した値から変更なし。

2020年5月期 事業セグメント別計画

(単位:百万円)

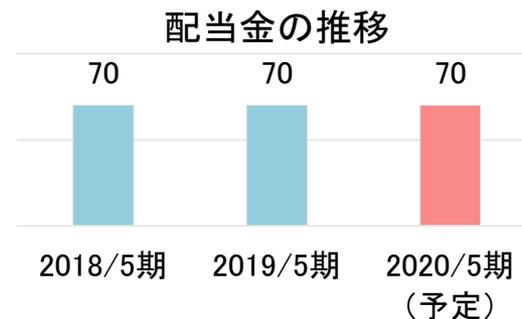
売上高		2020年5月期	2019年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	34,720	34,282	+1.3%	+437
	自動車・車両内装	57,270	60,304	△5.0%	△3,034
	機能資材	3,870	3,886	△0.4%	△16
	その他	140	143	△2.8%	△3
	合計	96,000	98,617	△2.7%	△2,617

営業利益		2020年5月期	2019年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	300	263	+13.9%	+36
	自動車・車両内装	3,850	4,018	△4.2%	△168
	機能資材	60	186	△67.8%	△126
	その他	90	78	+14.1%	+11
	調整額	△1,700	△1,427	+19.1%	△272
	合計	2,600	3,118	△16.6%	△518

株主還元について

■ 配当金について

2020年5月期は、中間、期末ともに1株当たり35円、合わせて年間70円を予定しています。



■ 自己株式の取得について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、自己株式の買付を行いました。

	①	②
取締役会決議	2019年1月11日	2020年1月10日
取得期間	2019年1月15日～2020年1月14日	2020年1月14日
株式の総数	600,000株(上限)	250,000株(上限)
取得価額の総額	1,800,000,000円(上限)	702,500,000円(上限)
取得方法	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付け	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付け



取得した株式総数	557,500株	224,000株
取得価額の総額	1,574,662,000円	629,440,000円

※2020年1月14日現在 発行済株式総数 7,682,162株
自己株式総数 1,373,246株(発行済株式総数の17.9%)

第5次中期3カ年経営計画「2020」

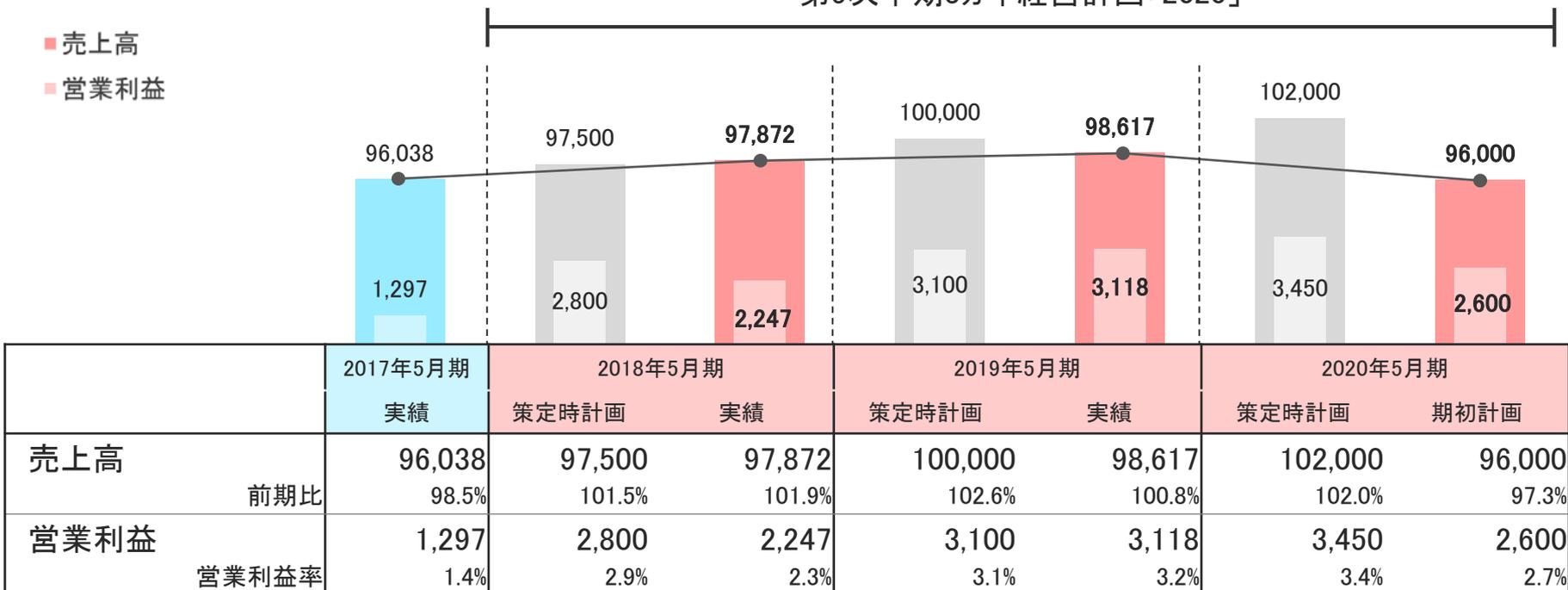
「企業ガバナンスの再構築」、「事業の成長」という2つのテーマのもと、諸施策に取り組んでおります。

○連結業績の推移

(単位:百万円)

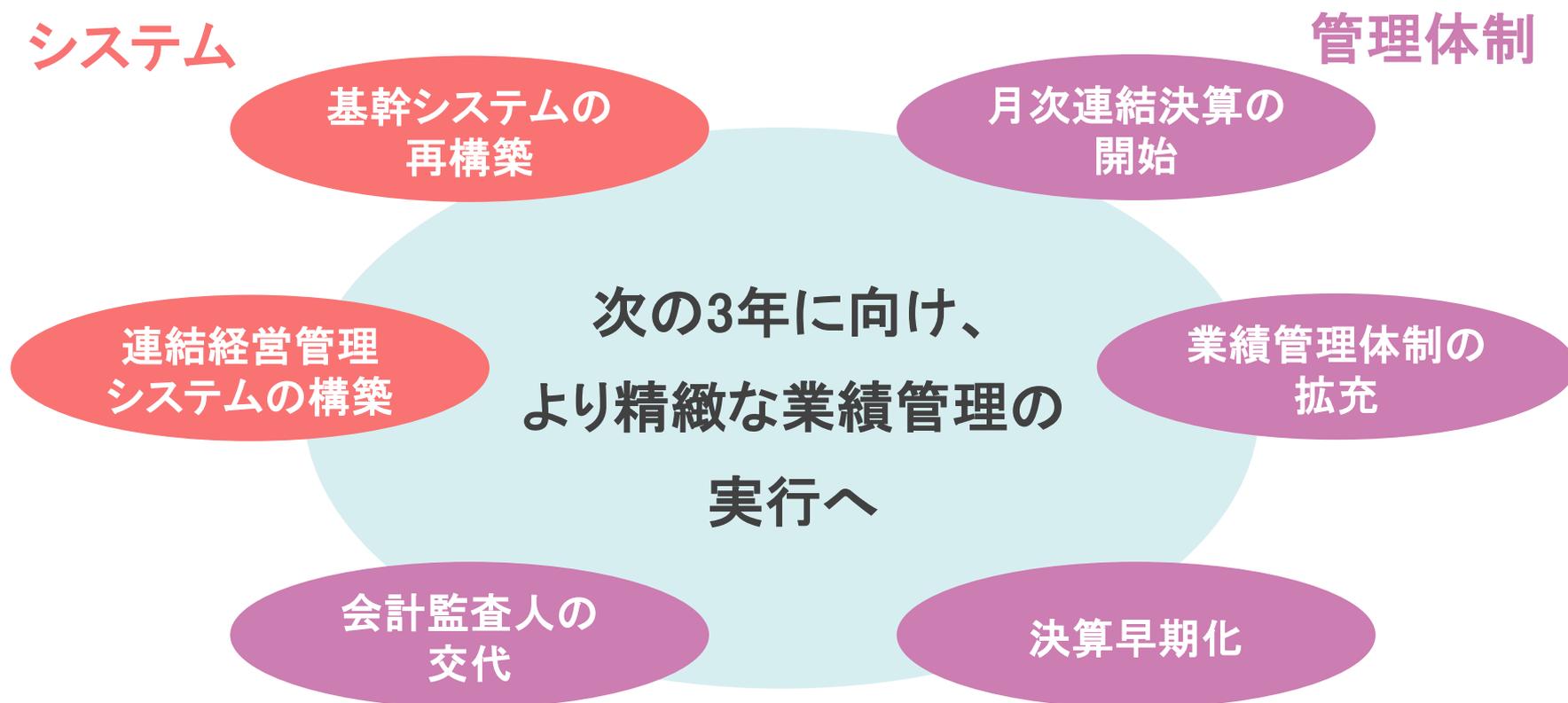
第5次中期3カ年経営計画「2020」

- 売上高
- 営業利益



第5次中期3カ年経営計画「2020」

「企業ガバナンスの再構築」として、業績管理を高度化するための様々な施策に取り組んでいます。



第5次中期3カ年経営計画「2020」

環境にやさしく、ユーザーにとって快適な商品を通して、「事業の成長」を推し進めています。

インテリア事業

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」

世界最高水準の再生材比率84%を達成した環境対策商品。



廃タイルカーペットの
裏材をパウダー状に。



リサイクルした裏材パウダーと、
使用済みペットボトルを再利用した糸「スミロン®」から、
新しいカーペットを生産。

自動車・車両内装事業

透湿性合皮「セルクロス®」

表面の微細な穴から湿度を通すので、長時間座ってもムレを防ぎます。



透湿性の実験

- ① 左右のコップに熱湯を注ぎ、「通常合皮」「セルクロス®」を乗せてコップでフタをします。
- ② 数十秒後、「セルクロス®」の上のコップが湿気で曇り、透湿性が高いことがわかります。

自動運転、シェアカー時代のカーインテリア

◆自動運転技術の進歩

→ 自動車は単なる移動手段から、自宅や職場に並ぶ**第3の生活空間**へ

◆カーシェアリングの発展

→ 不特定多数の人が使うため、**イージーメンテナンス**な素材が求められるように



自動車内装の変化に伴い、新たなアプローチ方法を探求しています



Intelligent Interior 2.0

「**Intelligent Interior 2.0**」と銘打ち、自動運転、シェアカー時代のカーインテリアのデザインを探求。

二つの事業のデザイナーが協業し、それぞれの強みを生かして、新たなデザインを作成しています。

インテリア事業

自動車・車両内装事業

自動運転、シェアカー時代のカーインテリア

I.I.2.0
Intelligent Interior 2.0



インテリア事業と自動車・車両内装事業の二本柱を持つ当社の強みを生かします。

■ 当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。